

2013年：管理人が選ぶ年間表彰

	氏名	理由	次点
MVP(男子)	三浦隆司	悲願の世界王座奪取を含め、3勝(2KO)。敵地メキシコでトンブソンを退けて初防衛(8/17)、大晦日に強打のハルトンを粉砕。ハードなマッチメイクに耐えて乗り越え、充実した1年。	***
MVP(女子)	宮尾綾香	世界戦3戦3勝で防衛3度。ダイナミックに動きながら旺盛な手数で圧倒するスケールの大きいボクサーに成長した。ホスト富樫直美の期待が十分。	***
殊勲賞	石本康隆	3勝2KO。マカオ遠征でウィルフレット・パスキス・ジュニアに快勝した一戦(4/6)が光る。2014年に大きな飛躍の予感。	***
技能賞(男子)	八重樫東	強豪ソーサを円熟した技巧とスピードで完封した一戦が光る。	***
	和氣慎吾	3勝(3KO)。見事なTKOで小國以載からOPFB王座を奪取(3/10)。スタイルッシュでスピードな技巧派として急上昇。2014年への期待十分。	***
技能賞(女子)	選考せず。		
努力賞	高山勝成	敵地メキシコでIBF王座を奪取(3/30)。IBF認可により、4年5ヶ月ぶりに日本のリングで初防衛に成功(12/3)。	加藤善孝
KO賞	山中慎介	世界戦3勝(3KO)。ツニヤカオを撃退した一戦(4/8)は圧巻。	小原佳太
敢闘賞	内山高志	世界戦2勝(1KO)。ハラを悶絶させたボティ打ちは圧巻(5/6)。金子大樹の善戦を許したが、技巧と強打で新鋭の壁になった(12/31)。	***
	井岡一翔	世界戦3勝(2KO)。アルハートとのタフファイトを制し、3度目の防衛に成功(12/31)。	
	金子大樹	日本タイトル戦で2KO勝ち。余勢を駆った内山高志への挑戦(12/31)では涙を呑むも、稀に見る激闘で逆に株を上げた。	
新鋭賞	井上尚弥	4勝3KO。日本、OPBFのタイトルを相次いで獲得。新人とは思えぬ卓越した技巧で大器の片鱗を見せた。	***
	村田諒太	2戦2KO。OPBF王者・柴田明雄を相手に衝撃のデビュー(8/25)。本場・米国でのビッグマッチに大きな期待。	
年間最高試合	内山高志vs.金子大樹(12/31)	大晦日を飾る死闘。絶対王者・内山に食い下がった金子の健闘は鬼気迫る。冷静な内山の対応にも賞賛。これぞ真のボクシング。	山中慎介vs.マルコム・ツニヤカオ(4/8) 三浦隆司vs.セルヒオ・トンブソン(8/17) 井上尚弥vs.田口良一(8/25)
年間最高アンダーカード	岩佐亮佑vs.権野大輝(12/6)	アンダーカードと呼ぶには贅沢過ぎる国内屈指の好カード。実力者同士が技巧と駆け引きの粋を尽くした白熱戦。	小原佳太vs.竹中聡(8/25)
来日あるいは日本人と対戦した外国人MVP	ロマン・ゴンサレス	オスカル・ブランケットを問題にせず粉砕した一戦(11/10)は圧巻。	ケンナティ・ゴロフキン (3/30 vs.石田順裕)
管理人特別賞	高山一夫	強打とスリリングなファイトで帝拳の黄金期を彩った。9/29逝去。	***